

「日本円金利指標に関する検討委員会」第4回議事要旨

(平成30年11月8日(木)、書面開催)

- 「日本円金利指標に関する検討委員会」(以下、検討委員会)が米国Alternative Reference Rates Committee傘下のCross-Currency Basis Swap Subgroup(以下、CBSS)での議論に参画するため、「通貨スワップ等ワーキンググループ」運営要領を策定すること、および、同運営要領に基づき同ワーキンググループを設立することについて、事務局から提案があった。
- 上記提案に対し、全メンバー21先のうち、20先が賛成、1先が反対した。この結果、賛成多数により、「通貨スワップ等ワーキンググループ」運営要領の策定および同運営要領に基づく同ワーキンググループの設立が可決された。
- 反対意見の概要は、以下の通り。
 - ① CBSSにおける通貨スワップの議論の射程はインターバンクの相対デリバティブであり、債券やローンなど多様な金利指標ユーザーの意見を反映させる必要がある商品について検討を行う検討委員会の趣旨に合わない。
 - ② 通貨・為替スワップはデリバティブであり、最終的に国際スワップ・デリバティブズ協会(以下、ISDA)の定義集等のドキュメントに反映されることとなるため、本議論はISDAのベンチマークワーキング等に委ねるべき。

以 上

「日本円金利指標に関する検討委員会」第4回会合 参加者

(メンバー)

議	長	三 菱 U F J 銀 行	松 浦 太 郎
副	議 長	野 村 證 券	野々村 茂
		み ず ほ 銀 行	渡 邊 謙
		三 井 住 友 銀 行	桂 田 大 成
		横 浜 銀 行	西 島 洋
		名 古 屋 銀 行	鈴 木 健 司
		ド イ ツ 銀 行	森 田 茂 樹
		大 和 証 券	稲 田 雄 一 郎
		ゴールドマン・サックス証券	田 口 研 吾
		モルガン・スタンレーMUFJ 証券	澤 田 淳
		ゆ う ち ょ 銀 行	市 川 達 夫
		農 林 中 央 金 庫	永 田 士 郎
		信 金 中 央 金 庫	田 中 賢 治
		第 一 生 命 保 険	重 本 和 之
		東 京 海 上 日 動 火 災 保 険	新 川 真 也
		大 和 証 券 投 資 信 託 委 託	小 宮 力
		丸 紅	小 倉 泰 彦
		三 井 不 動 産	富 樫 烈
		東 日 本 旅 客 鉄 道	伊 藤 敦 子
		三 菱 U F J リ ー ス	富 永 修
		日 本 電 信 電 話	廣 井 孝 史

(オブザーバー)

全 銀 協 T I B O R 運 営 機 関	遠 藤 満
国 際 ス ワ ッ プ ・ デ リ バ テ ィ ブ ズ 協 会	森 田 智 子
金 融 法 委 員 会	戸 塚 貴 晴

(弁護士)

東京金融取引所
日本証券クリアリング機構
全国銀行協会
日本証券業協会
金融庁
日本銀行
日本銀行

瀬尾亮介
金子貴比古
小山寛隆
田口順一
高山彬秦
大竹弘樹
塩沢裕之

(敬称略)

以上